

厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策政策研究事業  
MSM に対する有効な HIV 検査提供とハイリスク層への介入に関する研究  
総括・分担 研究報告書

## 首都圏における MSM に対する検査提供と介入の効果評価

研究分担者：塩野徳史（大阪青山大学 健康科学部看護学科 准教授）

研究協力者：金子典代（名古屋市立大学大学院看護学研究科）

岩橋恒太 木南拓也、藤原孝大、荒木順（特定非営利活動法人 akta）

星野慎二、宮島謙介（特定非営利活動法人 SHIP）

### 研究要旨

東京地域では、総計 499 キットを配布した。コミュニティセンター akta での対面配布のみであった。今年度も新型コロナウイルス感染症予防対策を講じ、密を避けて初受検者には対面での説明を加え対応を行った。これまで検査経験があるもの、検査キットの受け取り経験があるものには、ディスペンサーでの配布も導入した。

キット受け取り者のうち、実際に検体を郵送会社に郵送したものは 389 名であった。99.2%が結果サイトにログインしていた。ログイン率は昨年より上昇していた。HIV 陽性件数は 6 件（1.6%）、梅毒の陽性件数は 65 件（17.3%：既感染も含む）であった。アンケートに回答し、かつ検体郵送した者 297 名の属性については、29 歳以下が 21.5%を占めた。検体を送付した 297 名のうち、生涯初の検査経験割合は 15.8%、過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 51.9%であった。キットを受け取り、検体を送付したもののうち MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 46.5%を占めた。

神奈川地域では、総計 225 キットを配布した。コミュニティセンターでの対面配布 75 件、WEB での配布が 150 件であった。貸し会議室等の配布会場を借りるなどし、密を避けて受付対応を行った。

実際に検体を郵送会社に郵送したものは 184 名であった。98.4%が結果サイトにログインしていた。HIV 陽性件数は 4 件、梅毒の陽性件数は 33 件（既感染も含む）であった。アンケートに回答し、対面で受け取りをし、検体を郵送した者 61 名の属性については、30 歳未満が 34.4%を占めた。南関東地域の居住者が 73.8%、東京都の居住者が 26.2%であった。これまでに検査を受けたことがないものの割合は 29.5%、過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 62.3%であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 44.2%を占めた。

東京、神奈川地域では予定通り、東京については昨年より大幅に多い検査キットの配布

を行った。今後は、様々な HIV 検査、HIV 感染予防オプションが出ている中で、どのように情報提供を行い、MSM 受けやすい検査の受け皿を整備すべく働きかけるか検討が必要である。

## A.研究目的と背景

先行研究から、HIV 検査の選択肢を増やすことは、検査行動の促進につながるということがいわれている。保健所の HIV 検査は非常に重要であるが、地方都市や平日に保健所に来所できないクライアントには時間の都合や距離の遠さから不便さも伴う。また令和 2 年 2 月からの新型コロナ感染症拡大に伴い、保健所での検査提供は 7 割以上減少となっている。この減少を埋めるためにも新たな検査機会での補完が急務となった。そこで、東京地域では、自己採血の DBS 検体を送付しスクリーニング検査を受けるゆうそう検査をコミュニティセンターakta の対面で配布した。神奈川地域では、コミュニティセンター、貸し会議室等の会場を借りての対面配布、WEB 配布を実施した。MSM が利用しやすい HIV・梅毒の検査の選択肢を増やし、期間集中で配布し、検査普及における有効性の評価を行う。

## B.研究方法

東京地域ではコミュニティセンターakta において、本プロジェクトに関する説明事項を含むウェブサイトを開設した。コミュニティセンターでの対面型配布のみとした。公式ホームページ、公式 Twitter で広報を行った。

検査キット受け取り希望者はコミュニティセンターに直接来館し、その場でアンケートに答えてもらい、アンケート回答後にコミュニティセンタースタッフが検査に関

して説明をして、最後に受け渡す方法をとった。来場者には、①検査キット、②確認検査を受けられる施設情報シート、③アルバ作成 梅毒検査の意味、④ぷれいす東京 サポート情報カード、⑤梅毒啓発資材を配布した。また英国の研究チームと連携を行い、デジタルディスペンサーを導入し、対面とデジタルディスペンサーの選べる受け取り方法を行った。

神奈川地域では、対面型配布と WEB 配布 2 パターンで実施した。配布スタッフは、統括予約受付、配布担当を配置することとした。WEB 配布については、アプリ広告、Twitter での広告を行った。

なお、本研究は名古屋市立大学看護学部研究倫理審査委員会に設置された倫理審査委員会により承認を得た。

## C.研究結果

### 1) 検査キットの配布日・配布件数

東京地域では、すべてコミュニティセンターakta において対面で口頭説明付きで配布を行った。2022 年 7 月 23 日～2022 年 11 月 12 日に配布を行った。総計 499 キットを配布した。基本的には月曜日に予約制で対面配布を行った。木曜日から日曜日は、予約なしでも可とし、対面またはディスペンサーで配布を行った。(表 2-表 5)

神奈川県では SHIP と協働し、対面配布と WEB 配布を行った。対面配布で 75 件、WEB 配布で 150 件の総計 225 キットを配布した。(表 6-表 9)

## 2) 検体の送付状況と振り返り

今年度の実施から気づいたこと、よかったことは、開館時の配布では、早い時間に受け取りに来る人が多かった（開館前も含む）ことがあげられた。また予約枠と比べ、開館時の受け取りは、対象者の検査についての準備性が低かった。

修正が必要なこと、課題となったことは、予約枠は土壇場でのキャンセルが多いことが分かった。開館時は、他の作業や MTG、プログラム等との兼ね合いが難しかった。

また説明動画を倍速で見られる方もいたので、何度も見れる説明やフォローを追加する必要があった。グループでの受け取りは準備性が異なり、一緒に説明することが難しい事例があった。シフトスタッフが少ないときには、検査対応中に電話対応や来場者対応等が必要なこともあり、バランスをとることが難しいと感じた。また対象者には、説明を集中して聞いていただけなかったり、注意散漫になりながら説明を聞く人もあり、対応が難しかった。以前の HIV check 利用者では説明をスキップしようとする方もおられた。特に実家暮らしの学生等への資料提示、配布は難しい。

対象者からの質問対応では、結果の受け取りまでの時間や、梅毒に関する基本情報、HIV と梅毒で結果は別々に来るか？など様々なものがあった。聴覚障がい者の方への説明が必要な場面もあり、今後検討が必要であった。

ゆうそう検査を使ってみた動画をインスタで上げたいとの声もあった。メディア対応等が事前にルール化されていると良いと思った。

また外国人が日本人と一緒に来場したと

きにどのように説明するかが難しかった。

表 1-1 郵送検査利用者の概要

	地域	東京
	CBO	NPO法人akta
	コミュニティセンター	akta
a 配布数		499
対面配布数		499
WEB配布数		
b 受検者アンケート回答者数		731
c 利用者数；郵送検査会社での受付数		389
対面配布数(c対面/a対面)		389 ( 78.0% )
WEB配布数(cWEB/aWEB)		
利用率計；配布数に占める利用者数(c/a)		78.0%
d 結果確認者数；結果画面のログイン記録 (割合 d/c)		386 ( 99.2% )
<b>抗体検査結果</b>		*重複感染 (2名)
<input type="checkbox"/> HIV感染症		
e 判定不能者数 (割合 e/c)		3 ( 0.8% )
f 陽性数 (割合 f/c)		6 ( 1.6% )
推定 新規陽性者数 (新規陽性率) *		3.9 ( 1.0% )
<input type="checkbox"/> 梅毒		
g 判定不能者数 (割合 g/c)		14 ( 3.6% )
h 陽性数 (割合 h/c)		65 ( 17.3% )
推定 新規陽性者数 (新規陽性率) *		32.6 ( 8.7% )
i 追跡可能者数；無料ID利用者数 (割合 i/c)		297 ( 76.3% )
j 事後アンケート回答者数 (割合 j/c)		231 ( 59.4% )
k 追跡可能な事後アンケート回答者数 (割合 k/c)		182 ( 46.8% )

\* 新規陽性者の推定は、j)追跡可能者数における既往を除く陽性率をもとに新規陽性率を算出し、(利用者数-判定不能者数)に乘じて求めた。  
\*\* すべての集計より再受検(5名)の重複は除いた。

表 1-2 郵送検査利用者の概要

	地域	神奈川
	CBO	NPO法人SHIP
	コミュニティセンター	-
a 配布数		225
対面配布数		75
WEB配布数		150
b 受検者アンケート回答者数		231
c 利用者数；郵送検査会社での受付数		184
対面配布数(c対面/a対面)		65 ( 86.7% )
WEB配布数(cWEB/aWEB)		119 ( 79.3% )
利用率計；配布数に占める利用者数(c/a)		81.8%
d 結果確認者数；結果画面のログイン記録 (割合 d/c)		181 ( 98.4% )
<b>抗体検査結果</b>		*重複感染 (3名)
<input type="checkbox"/> HIV感染症		
e 判定不能者数 (割合 e/c)		0 ( 0.0% )
f 陽性数 (割合 f/c)		4 ( 2.2% )
推定 新規陽性者数 (新規陽性率) *		2.9 ( 1.6% )
<input type="checkbox"/> 梅毒		
g 判定不能者数 (割合 g/c)		2 ( 1.1% )
h 陽性数 (割合 h/c)		33 ( 18.1% )
推定 新規陽性者数 (新規陽性率) *		17.8 ( 9.8% )
i 追跡可能者数；無料ID利用者数 (割合 i/c)		147 ( 79.9% )
j 事後アンケート回答者数 (割合 j/c)		137 ( 74.5% )
k 追跡可能な事後アンケート回答者数 (割合 k/c)		113 ( 61.4% )

\* 新規陽性者の推定は、j)追跡可能者数における既往を除く陽性率をもとに新規陽性率を算出し、(利用者数-判定不能者数)に乘じて求めた。  
\*\* すべての集計より再受検の重複は除いた。

#### D.考察

今年度も新型コロナウイルスの影響で、保健所での HIV 検査が休止になったところもあり、定期的に保健所で検査を受けていた人が、キットを受け取りに来ることがあったと考えられる。

郵送検査の方法および確認検査を受ける場所への誘導について口頭で説明する必要があると考え、akta では対面で配布する方法をとった。受検者と直接接することで、検査方法を詳細に伝えることができ、問い合わせに対してもその場で答えることで、受検者に対して安心感を与えることができた。私たち自身も受検者がどのような疑問を持っているかを知ることができた。いまだ多くの保健所の検査提供が少なくなっていることもあり、予約枠はすぐ埋まる状況であった。

今後、どのような層にこのゆうそう検査を届けるかを考え、ターゲットを絞った広報、検査提供を考える必要がある。また、東京都以外にも様々な居住地の MSM がキットを受け取りに来る可能性があり、遠方から取りに来たものについての対応も今後検討する必要がある。

#### E.結論

東京地域では、対面とディスプレイを活用した検査キットの配布を実施した。入念な広報や情報提供の準備を行い、対面型に限定し検査を受けたことがないものに対しては、不安を軽減する工夫を実施した。その結果、最終年度は昨年度に比べ 100 件以上多い約 500 キットを配布できた。

神奈川地域では、総計 225 キットを配布

した。コミュニティセンターでの対面配布 75 件、WEB での配布が 150 件であった。貸し会議室等の配布会場を借りるなどし、密を避けて受付対応を行った。昨年度に続き、貸し会議室等の配布会場を借りるなどし、密を避けて受付対応を行った。

#### F.研究発表

##### 1.論文発表

- 1) Noriyo Kaneko, Satoshi Shiono, Adam O. Hill, Takayuki Homma, Kohta Iwahashi, Masao Tateyama, Seiichi Ichikawa: Correlates of lifetime and past one-year HIV-testing experience among men who have sex with men in Japan, *AIDS Care*, 2020.DOI: 10.1080/09540121.2020.1837339
- 2) 金子典代, 塩野徳史: コミュニティセンターに来場するゲイ・バイセクシュアル男性の HIV・エイズの最新情報の認知度と HIV 検査経験, コンドーム使用との関連. *日本エイズ学会誌*, 23(2), 2021.
- 3) 宮田りりい, 塩野徳史, 金子典代: MSM (Men who have sex with men) に割り当てられるトランスジェンダーを対象とする HIV/AIDS 予防啓発に向けた一考察-ハッテン場利用経験のある女装者 2 名の事例から. *日本エイズ学会誌*, 23(1), 18-25, 2021.
- 4) 金子典代, 塩野徳史: MSM を対象にした当事者主体の HIV 検査の取り組みと意義. *日本エイズ学会誌*, 22(3), 136-146, 2020.
- 5) 今橋真弓, 金子典代, 高橋良介, 石田敏彦, 横幕能行: 名古屋市無料匿名性感染

症検査会受検者における性感染症既往認識と検査結果. 日本感染症学会誌, 31(1), 2020. doi:10.24775/jjsti.S-2019-0003.

taking behaviours among men who have sex with men in Japan. 2021 Joint Australasian Sexual Health and HIV&AIDS Conferences, Virtual, 2021.

## 2.学会発表 (国外)

- 1) Anand Tarandeep, Nitpolprasert Chattiya, Shirasaka Takuma, Iwatani Yasumasa, Yokomaku Yoshiyuki, Imahashi Mayumi, Kaneko Noriyo, Iwahashi Kota, Ikushima Yuzuru, Aoki Rieko, Ishida Toshihiko, Shiono Satoshi, Yamaguchi Masazumi, Takemura Keizo, Iwamoto Aikichi: HIV Prevention among MSM in JAPAN: Current Opinions on Achieving the First 90 among Japanese MSM. The International Congress on Drug Therapy in HIV Infection(HIV Glasgow 2020), Glasgow, 2020.
- 2) Benjamin R. Bavinton, Adam Hill, Natalie Amos, Sin How Lim, Thomas Guadamuz, Noriyo Kaneko, Martin Holt, Adam Bourne: Low PrEP uptake among gay, bisexual, and other men who have sex with men in five Asian countries: Results of the Asia Pacific MSM Internet Survey. The 11th IAS - the International AIDS Society - Conference on HIV Science, Virtual, 2021.
- 3) Adam O Hill, Benjamin R Bavinton, Noriyo Kaneko, Lise Lafferty, Anthony Lyons, Stuart Gilmour, Jennifer Power, Gregory Armstrong: Associations between social capital and HIV risk-

## 3.学会発表 (国内)

- 1) 金子典代:U=Uをめぐる陽性者と HIV 予防対策と医療者のあり方について. 日本エイズ学会シンポジウム, 第34回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB 開催, 2020
- 2) 林田庸総、柏木恵莉、土屋亮人、高野操、青木孝弘、瀧永博之、菊池嘉、岩橋恒太、金子典代:乾燥ろ紙血による HIV Ag/Ab 郵送検査の検査ラボでの結果についての検討. 第34回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB 開催, 2020
- 3) 荒木順、金子典代、木南拓也、柴田恵、岩橋恒太、藤原孝大、鈴木敦大、小山輝道、高久道子、高久陽介、市川誠一、張由紀夫、生島嗣:ゲイバー等との連携による「LivingTogether のど自慢」の実践とその効果について. 第34回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB 開催, 2020
- 4) 井上洋士、後藤大輔、舩石翔馬、高橋良介、塩野徳史、金子典代:成人前期(20歳代)MSMでの性行動とHIV・性感染症認識に関する面接調査研究. 第34回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB 開催, 2020
- 5) 高橋良介、末盛慶、金子典代、石田敏彦:NLGR+への参加状況とHIV抗体検査受検経験の関連性. 第34回日本エイズ学会学術集会・総会, WEB 開催, 2020

- 6) 金子典代：日本のMSMにおけるHIV検査の促進、阻害要因に基づく検査拡大戦略。第1回 Fast-Track Cities Workshop Japan, Tokyo, 2021
- 7) 金子典代：MSMを対象としたHIV検査促進プログラムの変遷とHIV検査機会拡大にむけた新たな試み。日本エイズ学会シンポジウム，第35回日本エイズ学会学術集会・総会，東京，2021
- 8) Michiko Takaku, Myagmardorj Dorjgotov, Erdenetuya Gombo, Nyampurev Galsanjamts, Noriyo Kaneko, Seiichi Ichikawa：Studies on mitigating stigma and developing an awareness program targeting a population at risk for HIV infection in Mongolia. 第35回日本エイズ学会学術集会・総会，東京，2021
- 9) 浅沼智也、金子典代、荒木順、生島嗣、塩野徳史、砂川秀樹、宮田りりい、今村顕史：トランスジェンダーとセクシュアルヘルス。GID学会第23回研究大会・総会，WEB開催，2022
- 10) 金子典代、浅沼智也、荒木順、生島嗣、塩野徳史、砂川秀樹、宮田りりい、今村顕史：性別違和・トランスジェンダー当事者における性産業従事経験、性行動、性感染症の罹患、検査の実態。第36回日本エイズ学会学術集会・総会，浜松，2022

#### G.知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

- |          |    |
|----------|----|
| 1.特許取得   | なし |
| 2.実用新案登録 | なし |
| 3.その他    | なし |

表2 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 利用者概要

	アンケート		ID使用		ID不使用		合計	Pearson カイ2乗
	回答のみ		対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布		
<b>配布CBO</b>								
NPO法人akta/akta (東京)	434	100.0%	297	100.0%	92	100.0%	823	100.0%
<b>年齢階級</b>								
29歳以下	118	27.2%	64	21.5%	17	18.5%	199	24.2% 0.37
30-39歳	145	33.4%	110	37.0%	32	34.8%	287	34.9%
40-49歳	106	24.4%	87	29.3%	27	29.3%	220	26.7%
50-59歳	57	13.1%	31	10.4%	15	16.3%	103	12.5%
60歳以上	8	1.8%	5	1.7%	1	1.1%	14	1.7%
合計	434	100.0%	297	100.0%	92	100.0%	823	100.0%
<b>性別</b>								
男性	425	97.9%	297	100.0%	92	100.0%	814	98.9% 0.23
女性	3	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.4%
トランスジェンダー	3	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.4%
その他	3	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.4%
合計	434	100.0%	297	100.0%	92	100.0%	823	100.0%
<b>居住地</b>								
北海道	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0% <0.01
東北	2	0.5%	2	0.7%	0	0.0%	4	0.5%
北関東	11	2.5%	6	2.0%	1	2.0%	18	2.3%
東京	258	59.4%	182	61.3%	29	59.2%	469	60.1%
南関東	138	31.8%	97	32.7%	12	24.5%	247	31.7%
甲信越	7	1.6%	4	1.3%	0	0.0%	11	1.4%
北陸	2	0.5%	1	0.3%	1	2.0%	4	0.5%
東海	7	1.6%	4	1.3%	1	2.0%	12	1.5%
近畿	3	0.7%	1	0.3%	0	0.0%	4	0.5%
中国	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
四国	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
九州	5	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	5	0.6%
沖縄	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
不明	0	0.0%	0	0.0%	5	10.2%	5	0.6%
合計	434	100.0%	297	100.0%	49	100.0%	780	100.0%
<b>セクシュアリティ</b>								
ゲイ (男性同性愛)	319	73.5%	241	81.1%	34	69.4%	594	76.2% <0.01
バイセクシュアル	86	19.8%	52	17.5%	11	22.4%	149	19.1%
その他	29	6.7%	4	1.3%	4	8.2%	37	4.7%
合計	434	100.0%	297	100.0%	49	100.0%	780	100.0%

表3 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 利用者属性

	アンケート		ID使用		ID不使用		合計	Pearson カイ2乗	
	回答のみ n=434		対面配布 n=297	WEB配布	対面配布	WEB配布			
<b>国籍</b>									
日本	414	95.4%	278	93.6%			692	94.7%	0.23
アジア	16	3.7%	18	6.1%			34	4.7%	
欧米	1	0.2%	1	0.3%			2	0.3%	
その他	3	0.7%	0	0.0%			3	0.4%	
<b>あなたがお住まいの地域はどのような地域ですか？（年度により質問対象を変更したため、総数と異なる）</b>									
中心市街地	235	54.1%	176	59.3%			411	56.2%	0.26
郊外住宅地	192	44.2%	117	39.4%			309	42.3%	
農村地域・漁村地域	4	0.9%	3	1.0%			7	1.0%	
山間部	3	0.7%	0	0.0%			3	0.4%	
離島	0	0.0%	1	0.3%			1	0.1%	
<b>居住形態</b>									
独居	259	59.7%	193	65.0%			452	61.8%	0.20
同居	173	39.9%	104	35.0%			277	37.9%	
定住先はない	2	0.5%	0	0.0%			2	0.3%	
<b>今回を除いて、これまでにHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか？</b>									
ある	314	72.4%	250	84.2%			564	77.2%	<0.01
ない（今回が初めての検査）	120	27.6%	47	15.8%			167	22.8%	
<b>今回を除いて、過去1年間にHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか？</b>									
ある	163	37.6%	143	48.1%			306	41.9%	<0.01
ない	271	62.4%	154	51.9%			425	58.1%	
<b>過去1年の受検場所（複数回答）</b>									
保健所	61	14.1%	47	15.8%			108	14.8%	<0.01
病院/クリニック	60	13.8%	42	14.1%			102	14.0%	<0.01
郵送検査	49	11.3%	61	20.5%			110	15.0%	<0.01
その他	39	9.0%	30	10.1%			69	9.4%	<0.01
1年間にない	151	34.8%	107	36.0%			258	35.3%	
これまでにない	120	27.6%	47	15.8%			167	22.8%	
<b>過去1年間に、各地域でNGOや予防啓発を行う団体が配布している郵送検査キットを受け取って利用したことがありますか？</b>									
受け取っていない	390	89.9%	243	81.8%			633	86.6%	<0.01
受け取ったけど、利用していない	8	1.8%	3	1.0%			11	1.5%	
受け取って、利用した	36	8.3%	51	17.2%			87	11.9%	
<b>過去6カ月間に、以下の施設を利用しましたか？（複数回答）</b>									
ゲイバー	169	38.9%	122	41.1%			291	39.8%	0.59
ゲイイベント	62	14.3%	53	17.8%			115	15.7%	0.22
ゲイショップ	45	10.4%	33	11.1%			78	10.7%	0.81
有料のハッテン場	175	40.3%	146	49.2%			321	43.9%	0.02
野外のハッテン場	62	14.3%	50	16.8%			112	15.3%	0.35
いずれもない	137	31.6%	70	23.6%			207	28.3%	0.02
<b>過去6カ月間に、恋人や友達、セックスする相手をさがすために、以下のSNSや掲示板を利用しましたか？（複数回答）</b>									
Twitter	160	36.9%	92	31.0%			252	34.5%	0.13
Instagram	50	11.5%	30	10.1%			80	10.9%	0.63
VERO	26	6.0%	18	6.1%			44	6.0%	1.00
9monsters	346	79.7%	242	81.5%			588	80.4%	0.57
Men's Net Japan	94	21.7%	58	19.5%			152	20.8%	0.52
KO-MENSTV	9	2.1%	7	2.4%			16	2.2%	0.80
その他	31	7.1%	32	10.8%			63	8.6%	0.11
いずれもない	43	9.9%	33	11.1%			76	10.4%	0.62
<b>あなたは男性同性愛者対象の予防啓発の取り組みやコミュニティセンターを知っていますか？</b>									
よく知っている	56	12.9%	35	11.8%			91	12.4%	0.20
少し知っている	159	36.6%	124	41.8%			283	38.7%	
あまり知らない	168	38.7%	116	39.1%			284	38.9%	
全く知らない	51	11.8%	22	7.4%			73	10.0%	
<b>過去6カ月間に男性とセックスをしたことがありますか？</b>									
ある	392	90.3%	282	94.9%			674	92.2%	0.02
ない	42	9.7%	15	5.1%			57	7.8%	



表4 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 性行動・予防行動

	アンケート		ID使用		ID不使用		合計	Pearson カイ2乗	
	回答のみ		対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布			
	n=392		n=282				n=674		
過去6カ月に、セックスをした相手は、以下のどれにあてはまりますか？（複数回答）									
彼氏や恋人	76	19.4%	61	21.6%			137	20.3%	0.50
友達やセクフレ	252	64.3%	183	64.9%			435	64.5%	0.94
その場限りの相手	251	64.0%	202	71.6%			453	67.2%	<b>0.05</b>
その他	3	0.8%	0	0.0%			3	0.4%	0.27
過去6カ月に、インターネットやSNS、アプリを使って出会った人とセックスをしたことがありますか？									
ある	331	84.4%	229	81.2%			560	83.1%	0.30
ない	61	15.6%	53	18.8%			114	16.9%	
過去6カ月に、ハッテン場でセックスをしたことがありますか？									
ある	180	45.9%	150	53.2%			330	49.0%	0.07
ない	212	54.1%	132	46.8%			344	51.0%	
過去6カ月に、複数人（3人以上）で同時にセックスをしたことがありますか？									
ある	97	24.7%	70	24.8%			167	24.8%	1.00
ない	295	75.3%	212	75.2%			507	75.2%	
過去6カ月に、相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか？									
ある	23	5.9%	16	5.7%			39	5.8%	1.00
ない	369	94.1%	266	94.3%			635	94.2%	
過去6カ月に、相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか？									
ある	18	4.6%	7	2.5%			25	3.7%	0.22
ない	374	95.4%	275	97.5%			649	96.3%	
過去6カ月に、セックスのときにドラッグ（ラッシュ、コメオ、MDMA、大麻、覚せい剤、脱法ドラッグ）を使用したことがありますか？									
ある	12	3.1%	5	1.8%			17	2.5%	0.33
ない	380	96.9%	277	98.2%			657	97.5%	
過去6カ月のコンドーム使用状況									
非常用	319	81.4%	238	84.4%			557	82.6%	0.35
常用	73	18.6%	44	15.6%			117	17.4%	

	アンケート		ID使用		ID不使用		合計	Pearson カイ2乗	
	回答のみ		対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布			
	n=434		n=297				n=731		
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」について知っていますか？									
とてもよく知っている	133	30.6%	103	34.7%			236	32.3%	0.09
聞いたことはある	267	61.5%	182	61.3%			449	61.4%	
まったく知らない	34	7.8%	12	4.0%			46	6.3%	
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」を服薬したいと思いますか？									
服薬したくない/どちらかといえば	92	21.2%	53	17.8%			145	19.8%	0.34
服薬したい/どちらかといえば	336	77.4%	242	81.5%			578	79.1%	
HIV陽性/無効	6	1.4%	2	0.7%			8	1.1%	
過去6カ月に「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」を服薬したことがありますか？									
ない	375	86.4%	243	81.8%			618	84.5%	0.10
ある	53	12.2%	52	17.5%			105	14.4%	
HIV陽性/無効	6	1.4%	2	0.7%			8	1.1%	
これまでにかかったことがある性感染症はありますか？（複数回答）									
梅毒	76	17.5%	33	11.1%			109	14.9%	<b>0.02</b>
A型肝炎	7	1.6%	5	1.7%			12	1.6%	1.00
B型肝炎	26	6.0%	27	9.1%			53	7.3%	0.15
C型肝炎	1	0.2%	1	0.3%			2	0.3%	1.00
クラミジア	56	12.9%	38	12.8%			94	12.9%	1.00
尖圭コンジローマ	29	6.7%	20	6.7%			49	6.7%	1.00
淋病	43	9.9%	24	8.1%			67	9.2%	0.44
HIV感染症	6	1.4%	2	0.7%			8	1.1%	0.48
赤痢アメーバ	3	0.7%	1	0.3%			4	0.5%	0.65
毛じらみ	103	23.7%	79	26.6%			182	24.9%	0.39
性器ヘルペス	12	2.8%	9	3.0%			21	2.9%	0.83
その他	6	1.4%	6	2.0%			12	1.6%	0.56
いずれもない	211	48.6%	147	49.5%			358	49.0%	0.82

表5 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 事後アンケートの結果

アンケート 回答のみ	ID使用		ID不使用		合計		Pearson カイ2乗
	対面配布 n=182	WEB配布	対面配布 n=49	WEB配布	n=231		
事後アンケート この検査キットをどこで受け取りましたか？ (R5年度)							
コミュニティセンターで	140 76.9%		38 77.6%		178 77.1%	0.53	
デジタル・ディスペンサーで	30 16.5%		6 12.2%		36 15.6%		
検査キット配布会場で	6 3.3%		1 2.0%		7 3.0%		
インターネットのWEBページで	1 0.5%		0 0.0%		1 0.4%		
商業施設・ゲイ向けイベント等で	2 1.1%		1 2.0%		3 1.3%		
その他	0 0.0%		0 0.0%		0 0.0%		
無回答	3 1.6%		3 6.1%		6 2.6%		
事後アンケート 郵送検査キットをこれまでに何回利用したことがありますか？ (R5年度)							
今回がはじめて	102 56.0%		19 38.8%		121 52.4%	<b>0.04</b>	
何度か利用した	77 42.3%		27 55.1%		104 45.0%		
無回答	3 1.6%		3 6.1%		6 2.6%		
事後アンケート 指先からの採血は簡単でしたか？							
簡単だった	120 65.9%		32 65.3%		152 65.8%	0.12	
どちらでもない	30 16.5%		6 12.2%		36 15.6%		
難しかった	29 15.9%		7 14.3%		36 15.6%		
無回答	3 1.6%		4 8.2%		7 3.0%		
事後アンケート 今回、ゆうそう検査を使ってみていかがですか？理由も教えてください。(R5年度)							
とても満足している	124 68.1%		31 63.3%		155 67.1%	0.29	
まあ満足している	47 25.8%		11 22.4%		58 25.1%		
あまり満足していない	4 2.2%		2 4.1%		6 2.6%		
全く満足していない	1 0.5%		0 0.0%		1 0.4%		
無回答	6 3.3%		5 10.2%		11 4.8%		
事後アンケート 仮に、今回の検査でHIV抗体検査の結果が「要確認」となった場合、あなたはどうしますか？							
保健所を利用	67 36.8%		22 44.9%		89 38.5%	<b>0.05</b>	
公的な検査機関を利用	83 45.6%		20 40.8%		103 44.6%	0.13	
クリニックを利用	66 36.3%		20 40.8%		86 37.2%	0.08	
何もしない	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%		
その他	4 2.2%		0 0.0%		4 1.7%	0.08	

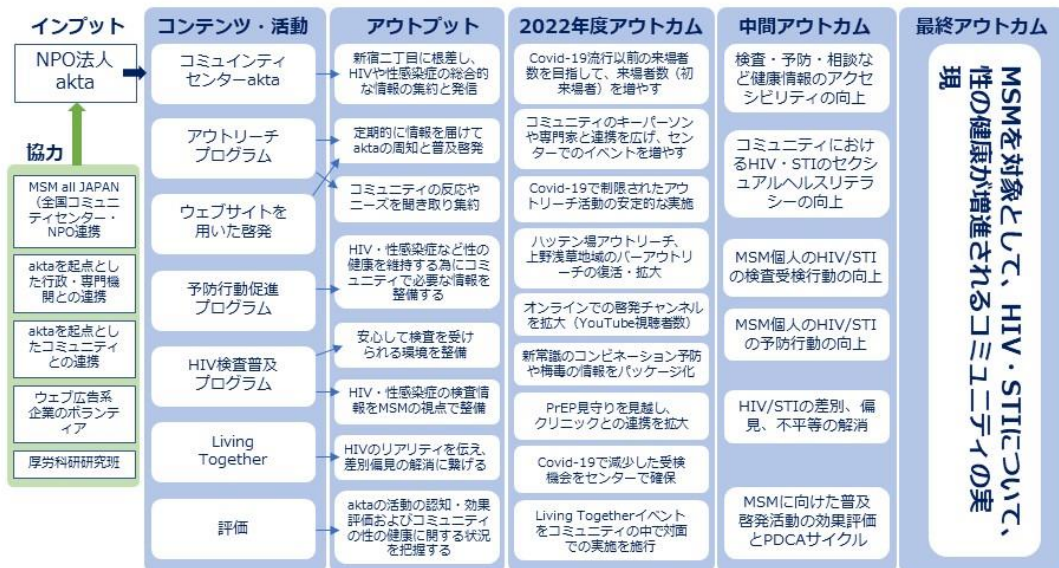
# 東京地域MSMを対象とした予防啓発活動

Community center akta

日時：3月4日（土）13:00～18:00  
 3月5日（日）09:30～17:00  
 場所：東京都新宿区新宿 4-3-25 TOKYU REIT  
 新宿ビル7階 コンフォート新宿

## 2022年度：活動のミッション

Covid-19で停滞してしまった、コミュニティのキーパーソンや専門家との連携、地域の受検機会の確保、アウトリーチやオンラインでの啓発のチャンネルの確保を進める。また、コンビネーション予防や性感染症の情報をパッケージ化し、東京地域のMSMコミュニティのヘルスリテラシー向上を目指す。



# 地域の商業施設数と連携

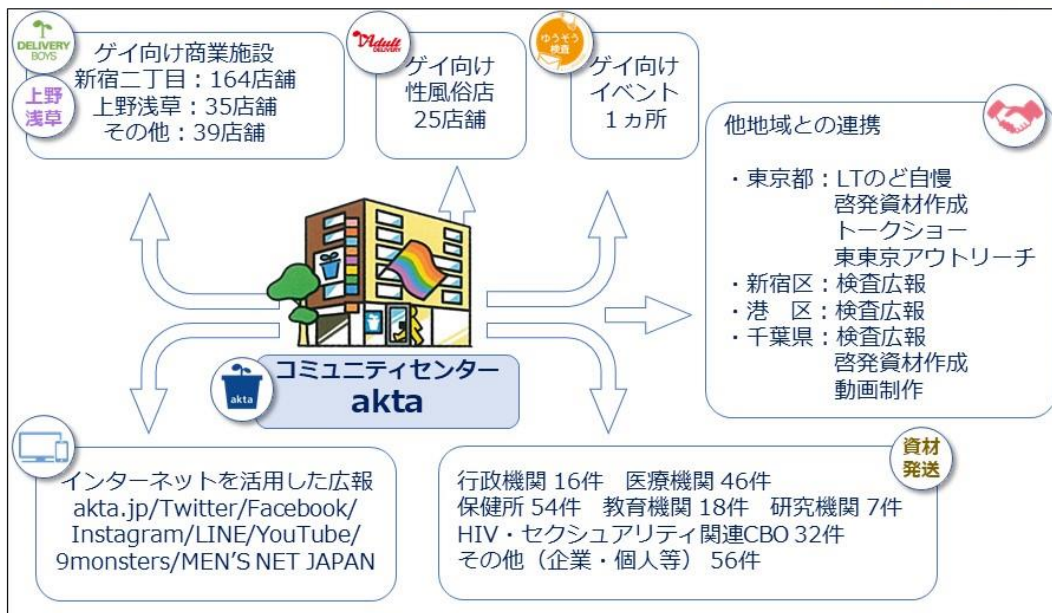
2022年度1月末時点

	地域の店舗数		連携店舗数		備考
	全体	新宿	全体	新宿	
ゲイバー	716	400	226	170	
有料ハッテン場	62	16	25	14	
ゲイナイト	-	-	1	1	
ウリ専	8	8	2	2	
ゲイショップ	27	10	11	7	
サウナ・ホテル	13	4	6	3	
マッサージ	-	-	2	1	
ゲイ雑誌	-	-	0	0	
スマホアプリ	9	-	3	-	
ウェブサイト	-	-	8	-	
ゲイサークル	-	-	-	4	
その他(大学・YouTube他)	-	-	4	3	

3

# 普及啓発活動の状況

2022年度1月末時点



4

# コミュニティセンターの活動状況

## コミュニティセンター akta

運営スタッフ：常勤 4人、非常勤 3人

ボランティア 140人くらい

開館曜日：木曜、金曜、土曜、日曜

開館時間：15:00 - 21:00 2022年度1月まで

総来場者数：**2,316人** (前年度比：162.18%)

初来場者数：**926人** (前年度比：185.57%)

相談件数：**93件**

(うち、セクシュアルヘルスに関する相談：47件)



※2022年4月～2023年1月まで

2022年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来場者数	172	138	119	173	132	315	390	418	275	184			2316
初来場者	38	37	31	71	49	136	185	192	123	64			926
相談件数	12	5	11	15	8	10	5	12	7	8			93

5

# コミュニティセンターの活動状況

センターにおけるプログラムの展開：

2022年度1月まで

## 展覧会

	<b>HAVE A NICE SEX</b> ファクトシート ターボリン展 対象年齢：若年層		<b>Jonathan EXHIBITION</b> 対象年齢：中高年層
	<b>ほんの犬展</b> 対象年齢：若年層		<b>SIN5 PRINT ART EXHIBITION</b> 対象年齢：中高年層
	<b>S. オニクホ写真展</b> 「だいこんと私としろうり」 対象年齢：中高年層		<b>フォスター写真&amp;映像展</b> 「in Bloom展」 対象年齢：全般

## カフェ

新規 資料展開

### aktaカレーフェスタ

対象年齢：若年層

センター事業費 NPO予算

**プログラムの目的：**  
若年層へaktaの利用を提案し、community centerへの新規来場者を誘致する。また「aktaゆうそう検査(HIV・梅毒)」による検査イメージと、コミュニティ感覚のバランスを図る。

結果：52名来場



## 講座・MTG・イベント

中国語教室 対象年齢：中高年層	わら人形を作る会 対象年齢：若年層	TAW2022上映会 対象年齢：全般
竹輪句会 対象年齢：中高年層	「都会の愛し方」をめぐる話 対象年齢：全般	
AAセクマイ 対象年齢：全般	ウィークエンド上映会 対象年齢：全般	

## その他

・各種見学対応(大学、行政等)としてオンラインや直接aktaへの訪問があった。

6

# akta talk show

(東京都委託事業)

プログラムの目的：コミュニティへの情報共有、意見交換、普及啓発および専門家とのネットワーキング  
対象となる人や施設：コミュニティの人たち、商業施設のオーナーやスタッフ、aktaボランティアスタッフ  
HIVに関連した活動をしている人たち、LGBTQ+

実施内容：

ゲイ・バイセクシュアルの健康に関わる最新研究の勉強会 **NEW!**



① 10月20日(木)

「コロナ禍における保健所でのHIV検査数の変化について」

出演者：江島啓介（インディアナ大学助教）

司会：岩橋恒太(akta)

参加者オフライン10名/オンライン23名



② 12月15日(木)

「日本のMSMにおけるPrEPの費用対効果についての分析」

出演者：山本奈央(アリゾナ州立大学博士課程学生)

コメンテーター：塩尻大輔（パーソナルヘルスクリニック院長）

司会：江島啓介（インディアナ大学助教）

参加者オフライン5名/オンライン16名



③ 2023年2月9日(木)

「HIV根治に向けた治療技術の開発について」

出演者：保富康宏(医療基盤・健康・栄養研究所)

コメンテーター：柏崎正雄（エイズ予防財団）

司会：江島啓介（インディアナ大学助教）

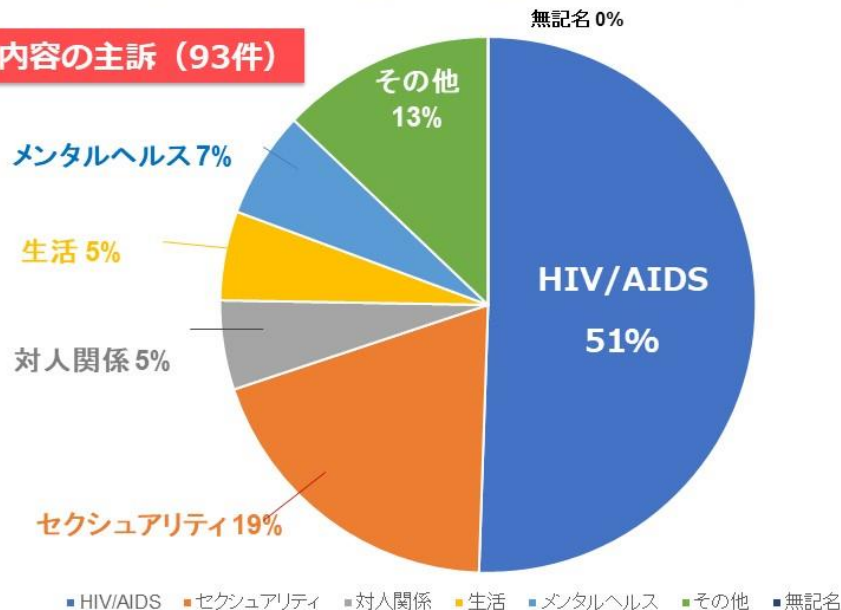
参加者オフライン9名/オンライン25名

7

## 相談対応

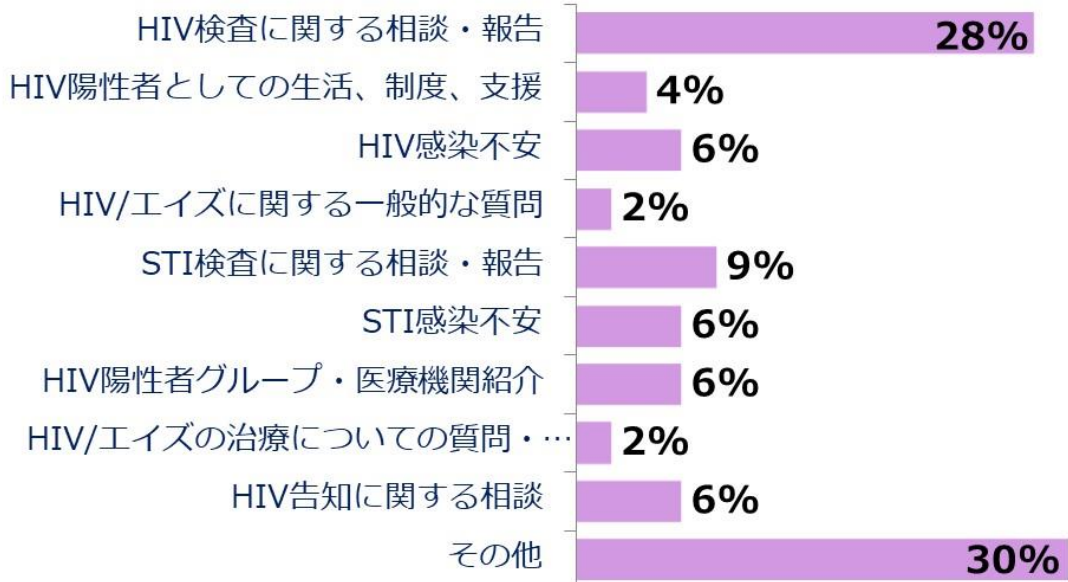
セクシュアリティに理解のあるスタッフが  
オープンスペースで対応し、支援リソースへつなぐ。

相談内容の主訴（93件）



8

# HIV/エイズに関する相談の主訴 (51件)



9

## 専門相談員による相談機会の提供 「moyamoya aktaで話そう、聞いてみよう」

継続：2020年～

センター事業費

資材展開

### プログラムの目的

HIVやセクシュアルヘルスについての「相談」のハードルを下げ、心の中のもやもやした気持ちを話したり、知りたいことや迷いにつきあい本人が判断しやすくなるような機会を提供する。

### 対象となる人

ゲイ・バイセクシュアルなど男性と性行為をする男性（MSM）若い層、すでにaktaを知っている人（来場経験者やaktaの活動に参加した経験がある人、聞いたことはあるが来たことがない人）



### 結果

交流会：3名

交流会：2名

開催日	7/9	8/13	9/10	10/8	11/12
相談件数	2件	1件	2件	1件	3件



10

目的：定期的に情報を届けてaktaの周知と普及啓発を行う



492ヶ所へ届ける、492ヶ所からの情報発信



## アダルトデリバリー

東京都

### プログラムの目的

性行為が活発に行われるスポットにおいて、セーファーセックスを身近に感じてもらうと共に、HIV/AIDSについて情報をアップデートする機会を提供する。また情報を届けると共に、商業施設とのネットワーキングを構築する。

### 対象となる人

都内ハッテン場（性風俗店）の顧客と従業員。

### 実施内容

月に1回、都内ハッテン場（性風俗店）に、性に関する様々なアイデアを配達するアウトリーチ活動。

センター事業

## 資材発送

### プログラムの目的

直接のアウトリーチができていないゲイバーやハッテン場等の商業施設を含む、全国のMSMを取り巻く関係機関に対し、資材の送付を行う。

### 実施内容

月に1回、下記関係機関へ資材の発送を行う。

行政機関 16件 医療機関 46件  
保健所 54件 教育機関 18件 研究機関 7件  
HIV・セクシュアリティ関連CBO 32件  
その他（企業・個人等） 56件

11



## デリバリーボーイズ

継続：2003年～

センター事業費

募金

資材展開



### プログラムの目的

セーファーセックスを身近に感じてもらうと共に、HIV/AIDSについて話す機会を提供する。また情報を届けると共に、街や店内の雰囲気や反応をキャッチしてくる。

### 対象となる人

新宿二丁目を中心としたゲイバーやクラブの顧客と従業員。また、参加するボランティアスタッフも対象となる。

### 実施内容

毎週金曜日に、お揃いのユニフォームを着て、新宿二丁目を中心としたゲイバーやクラブに、コンドームや性の健康に関する様々なアイデアを配達するアウトリーチ活動。

### 結果

実施日時：毎週金曜日(第三金曜日を除く)の20時～22時  
登録者数：140名(内5～10名前後/回のスタッフが参加)  
配布店舗数：164店舗  
コンドーム配布数：**年間22,474個** 1回約600～1200個  
稼働日数：41日



### 今年度作成した、 コンドームパッケージ



12





# 上野・浅草 アウトリーチ

新規：2022年～

センター事業費

東京都



## プログラムの目的

セーフアセックスを身近に感じてもらうと共に、HIV/AIDSについて話す機会を提供する。また情報を届けると共に、東東京地域の現状や課題を把握する。

## 対象となる人

上野・浅草を中心としたゲイバーの顧客と従業員。



## 実施内容

月に1回、上野・浅草を中心としたゲイバーに、コンドームや性の健康に関する様々なアイデアを配達するアウトリーチ活動。

## 結果

実施日時：月に1回(基本木曜日)の16時～22時  
配布スタッフ：2名(akta常勤スタッフ+臨時スタッフ)  
配布店舗数：上野26店舗/浅草9店舗  
コンドーム配布数：年間**1,353個** 1回約150～200個  
稼働日数：9日※4月は発送にて実施



13

# akta monthly schedule

継続：2017年～

センター事業費

資材展開

## プログラムの目的

community center aktaの周知と、コンドーム設置協力店舗へのインタビュー記事を通し、活動をはじめ、HIVや性感染症へのイメージや二丁目のコミュニティ感覚について考えるキッカケづくりとして発信するフリーペーパー。



## 紙面版

2022年4月号～2023年1月号までを発行した。  
パーマのインタビューだけでなく、関係者のインタビューも試験的に開始!



## ウェブ版

紙面版で載せきれなかった内容をウェブ版にて公開。写真も加わり、より内容を深く掘り下げられます。

## 結果

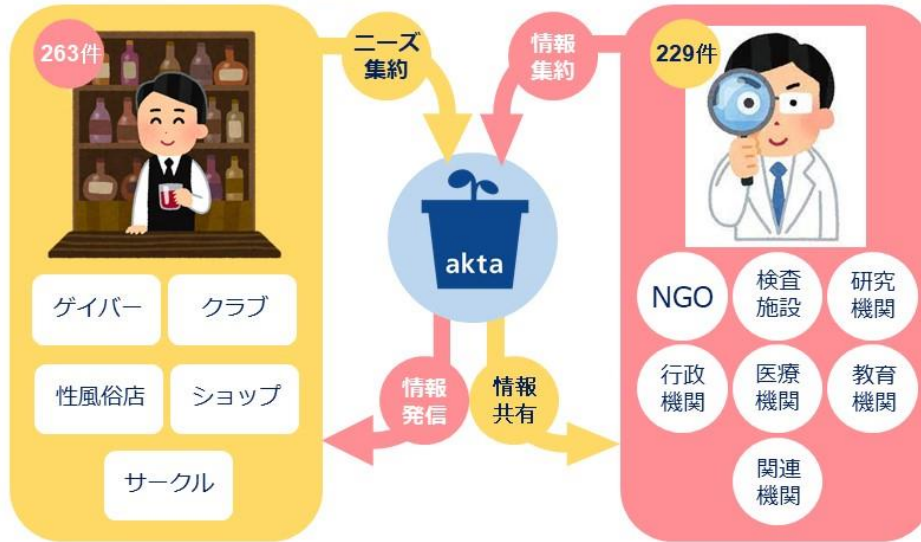
発行部数：2022年4月号～2023年1月号まで各号5000部 発行、配布  
配布先：新宿二丁目のBAR&クラブ/164店舗 その他関係機関への発送

14

# 啓発普及の基点（連携のハブ）

ゲイコミュニティとの連携

HIV関連機関との連携



15

## akta YouTube CHANNEL

継続：2019年～

センター事業費

WEB

### プログラムの目的

ICTを活かした啓発普及を強化して、コミュニティセンターを利用しない層や、コミュニティセンターのない地域に向けて発信する。性行動の活発な特に1980～2000年代出生世代のMSMに情報を届けるためには、オンラインと、対面などリアルの両方のアプローチが求められる。そのため、ネットでの動画を利用した啓発のさらなる強化を試行する。

### 内容

動画を制作して、定期的にaktaの活動紹介とHIV・セクシュアルヘルスの情報発信を、YouTube aktaオフィシャルチャンネルから発信！



#### akta大学

大学の講義形式で、トピックについてポイント解説を行う。



#### 3分×3分

aktaスタッフが、視聴者の疑問に3分以内に回答するコーナー。



#### akta information

aktaが作成している資材やプログラム等について、紹介するコーナー。



#### コラボ企画

人気のゲイバーのママさん4人で構成されるYouTubeチャンネルとコラボ！この動画をキッカケに登録者数がグンと伸びた！

### 結果

総視聴回数：38,902回（同期比：125%）

チャンネル登録者数：912人

（前年同時期比：306人増）

16

# akta.jp ~WEB上でのaktaの入り口

継続：2021年～

センター事業費

NPO予算

WEB

## プログラムの目的

ゲイ商業施設にアクセスしない層や、ネット利用に止まる若年層をセンターへ集客するため、ホームページを運営して活動の見える化と啓発・周知を行う。

## 内容

Community center aktaと、そのプログラムを紹介するサイト。コロナ禍の影響を受け、センターに来られない人のために「ライブラリ」として、サイト上での資料のアーカイブ閲覧や受け取りの方法を整備した。

## 結果

ユーザー数：90,033名（同期比：126.95%）



※2022年5月に梅毒のウェブサイトのキャンペーンを実施



17

# HIVマップ

すぐに役立つHIVの情報サイト

継続：2007年～

HIVマップ事業費

WEB



## プログラムの目的

主にMSMに向けた相談支援として位置づけたサイトを運営。総合情報サイトとして、支援情報、検査情報、基礎知識、統計情報などについて網羅する。

## 内容

各種コンテンツの情報更新に合わせ、HIV予防の方法の多様化（PrEP、U=Uなど）に合わせた啓発やメッセージ・コンテンツの発信を行う。2021年度に開始したコンパクトに情報をまとめた「ポスト」の更新を行った。



HIVお役立ちナビ  
予防啓発/検査/治療/  
支援などを紹介するリ  
ソース集

あんしんHIV検査  
サーチ  
首都圏MSM向け検査  
情報提供

HIV/エイズガイド  
HIVの基礎知識につい  
て、マンガとテキスト  
で紹介

HIVmap POST  
HIVや性感染症など  
MSMの性の健康譲歩  
をブログ形式で紹介



サル痘 (mpox) が日本で  
感染拡大 ～現状を知って  
感染リスクを下げよう～  
February 25, 2023 Modified: 2023.02.25  
2023年02月25日 (日) 公開

サル痘 (mpox) は、もともとはアフリカの一部の国々の、主に動物から人間に感染する病気として知られていました。しかし、2022年5月以降、欧米を中心に人間から人間への感染

18

# HAVE A NICE SEX ファクトシート

継続：2021年～

センター事業費

資材展開

WEB

## プログラムの目的

情報が錯綜する中で、正しく情報を入手し、自分にあったものを選択することが難しい時代に、ヘルスリテラシー向上を応援するツールとして、日本におけるHIV/AIDSの状況や、HIVだけではない性感染症の情報、HIVの新常識について取り扱う。また、医療機関や検査場等と連携をとり、医療現場での情報周知にも役立つ内容とする。

## 内容

今知って欲しいこととして、昨年度は「今のHIV/梅毒動向データ」「B型肝炎」「PrEP」について取り扱い、今年度は「梅毒の検査と治療」をテーマに資材を作成した。またWEBサイト化をし、オンライン上でも閲覧可能とした。

## 結果

発行部数：5,000部

配布先：新宿二丁目のBAR&クラブ/164店舗 その他関係機関への発送（特に都内クリニック等、医療機関へ発送）

※検査所や医療機関で配送希望が多数寄せられた。



19

# ヤローページ

継続：2011年～

センター事業費

資材展開

## プログラムの目的

MSMが安心して検査を受けることができる検査環境を整備した上で、東京都内の検査施設等の検査情報とゲイタウンの商業施設情報を同時に案内する資材を開発することで幅広い層に周知し、HIV感染予防およびエイズ発症予防を喚起し自主的な検査行動を促進する。またコミュニティとの連携を強化し、二丁目のコミュニティを応援する。

## 内容

前回2019年に新宿版を発行後、3年ぶりの発行となる。前回に引き続き「新宿版」として、新宿二丁目の商業施設情報と一緒に、都内クリニック12施設他、医療機関を紹介。

## 結果

発行部数：6,000部

配布先：新宿二丁目のBAR&クラブ/164店舗  
その他関係機関への発送

新宿二丁目交差点のビルボードのジャックを12月～1月初旬まで行った。



20

## 検査環境の整備と検査行動の促進 保健師（HIV検査担当者）研修会

東京都	神奈川県	千葉県	埼玉県
東京都福祉保健局 健康安全室感染症対策課 エイズ対策係	神奈川県保健福祉局 健康医療部健康危機管理課 感染対策グループ	千葉県保健福祉部 疾病対策課 感染対策室	埼玉県保健医療部 保健医療政策課 感染症・ 新型インフルエンザ対策担当

エイズ予防のための戦略研究(東京都はそれ以前よりふれいす東京により実施)以降毎年実施されてきた保健師研修会が、COVID-19の影響により中止となったが、今年度は各自治体と調整を行い、**すべての地域で研修会を再開。積極的に講師として協力した。**

東京都	神奈川県	千葉県	埼玉県
2022年12月2日実施	2023年3月17日実施予定 (オンライン開催)	2022年10月17日実施	2022年9月15日実施

### 主な研修内容

講義：各自治体の現状報告／性の多様性／地域での効果的な啓発方法について  
 ワークショップ①：reading work／保健所の情報交換／課題の確認  
 ワークショップ②：模擬対応／セクシュアリティに配慮した相談の実際／検査相談に利用できる資材やNPOの活動紹介

**MSMへの理解を深め、MSMが安心して検査を受けられる環境整備**

## 行政機関と連携した検査広報

### 東京都

各保健所の個別情報→ウェブサイト紹介  
都の検査施設のみ紹介、4000部作成・配布



### 新宿区保健所

ゲイのためのエイズ・性感染症検査



### みなと保健所

新橋あんしん検査



### 千葉県

MSM向け休日検査→ウェブバナー広報  
受検者へ配布する情報カード、コンドーム、3000部作成・配布



# aktaゆうそう検査

継続：2021年～

研究費

センター事業費

資材展開

WEB

寄付金

## プログラムの目的

新型コロナウイルス感染症の影響によりHIV・梅毒の検査機会を失っているMSMに対し、厚生労働省エイズ対策政策研究事業「MSMに対する有効なHIV検査提供とハイリスク層への介入に関する研究」の一環で実施される「ゆうそう検査」の広報に協力することで、MSMに対するHIV・梅毒検査機会向上に貢献する。

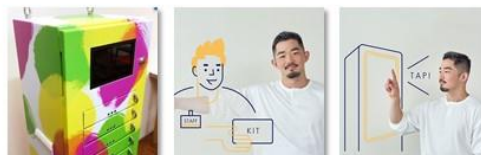
## 内容

コミュニティセンターを利用したMSM向けHIV/梅毒の郵送検査キットの配布。確認検査受入機関として、行政の他、東京都内15の医療機関と連携を行った。また英国の研究チームと連携を行い、デジタルディスペンサーを導入し、対面とデジタルディスペンサーの選べる受け取り方法を行った。



## 結果

配布数：499個（対面：176個／ディス：323個）  
配布期間：2022年7月23日～2022年11月12日  
広報：ポスター、9monsters（起動時全画面バナー、帯バナー）



23

**WE'RE  
ALREADY  
LIVING  
TOGETHER.**

**HIVを持っている人も、  
そうじゃない人も、  
まだ分からない人も。  
わたしたちはすでに、  
いっしょに生きている。**

**WE'RE ALREADY  
LIVING TOGETHER.**

# Living Together のど自慢

継続：2006年～

東京都事業費

資料展開

## プログラムの目的

- ・ HIVを自分の事として、身近に捉える機会を提供する
- ・ 陽性者の声を可視化して、スティグマを低減し、誰もが暮らしやすい社会へ



## 実施内容 HIV陽性者・周囲の人の手記の朗読+カラオケ

- 2022年6月19日(日) 第58回目実施@九州男
- 2022年10月10日(日) 第59回目実施@九州男
- 2023年1月9日(月祝) 第60回目実施予定@九州男



## 結果

- ・ イベントへの参加経験が、HIVの会話経験や検査行動につながっていることがわかった



## 他、LT関連イベント/出張等

REDawareness :

2022年12月1日(木)～11日(日) @akta 110名来場

Living Together aktaライブショー :

2023年2月23日(木) @akta 33名来場



25

# 2023年度：活動のミッション

ベテランスタッフのシフト卒業を受け、コミュニティセンターaktaの体制を再構築する。若年MSMへの訴求方法を検討し、コンビネーション予防や性感染症などMSMの性の健康課題に取り組む。また、コミュニティでの検査機会提供の次期モデルを検討、試行する。



26

表6 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 利用者概要

	アンケート		ID使用				ID不使用		合計	Pearson カイ2乗
	回答のみ		対面配布		WEB配布		対面配布			
配布CBO										
NPO法人SHIP (神奈川)	84	100.0%	61	100.0%	86	100.0%	33	100.0%	264	100.0%
年齢階級										
29歳以下	34	40.5%	21	34.4%	36	41.9%	13	39.4%	104	39.4%
30-39歳	31	36.9%	20	32.8%	25	29.1%	15	45.5%	91	34.5%
40-49歳	14	16.7%	14	23.0%	14	16.3%	4	12.1%	46	17.4%
50-59歳	4	4.8%	5	8.2%	11	12.8%	1	3.0%	21	8.0%
60歳以上	1	1.2%	1	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.8%
合計	84	100.0%	61	100.0%	86	100.0%	33	100.0%	264	100.0%
性別										
男性	84	100.0%	61	100.0%	86	100.0%	33	100.0%	264	100.0%
女性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
トランスジェンダー	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	84	100.0%	61	100.0%	86	100.0%	33	100.0%	264	100.0%
居住地										
北海道	2	2.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.8%	3	1.2%
東北	0	0.0%	0	0.0%	1	1.2%	0	0.0%	1	0.4%
北関東	7	8.3%	0	0.0%	3	3.5%	1	4.8%	11	4.4%
東京	30	35.7%	16	26.2%	32	37.2%	8	38.1%	86	34.1%
南関東	38	45.2%	45	73.8%	45	52.3%	9	42.9%	137	54.4%
甲信越	1	1.2%	0	0.0%	1	1.2%	0	0.0%	2	0.8%
北陸	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.8%	1	0.4%
東海	2	2.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.8%
近畿	3	3.6%	0	0.0%	2	2.3%	0	0.0%	5	2.0%
中国	0	0.0%	0	0.0%	1	1.2%	0	0.0%	1	0.4%
四国	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
九州	1	1.2%	0	0.0%	1	1.2%	0	0.0%	2	0.8%
沖縄	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.8%	1	0.4%
合計	84	100.0%	61	100.0%	86	100.0%	21	100.0%	252	100.0%
セクシュアリティ										
ゲイ (男性同性愛)	48	57.1%	42	68.9%	65	75.6%	10	47.6%	165	65.5%
バイセクシュアル	28	33.3%	17	27.9%	15	17.4%	8	38.1%	68	27.0%
その他	8	9.5%	2	3.3%	6	7.0%	3	14.3%	19	7.5%
合計	84	100.0%	61	100.0%	86	100.0%	21	100.0%	252	100.0%



表7 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 利用者属性

	アンケート		ID使用		ID不使用		合計		Pearson カイ2乗	
	回答のみ n=84		対面配布 n=61		WEB配布 n=86		対面配布 WEB配布			n=231
国籍										
日本	76	90.5%	55	90.2%	79	91.9%	210	90.9%	0.67	
アジア	5	6.0%	6	9.8%	6	7.0%	17	7.4%		
欧米	2	2.4%	0	0.0%	1	1.2%	3	1.3%		
その他	1	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.4%		
あなたがお住まいの地域はどのような地域ですか？（年度により質問対象を変更したため、総数と異なる）										
中心市街地	42	50.0%	36	59.0%	44	51.2%	122	52.8%	0.81	
郊外住宅地	39	46.4%	25	41.0%	39	45.3%	103	44.6%		
農村地域・漁村地域	1	1.2%	0	0.0%	1	1.2%	2	0.9%		
山間部	2	2.4%	0	0.0%	2	2.3%	4	1.7%		
離島	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
居住形態										
独居	58	69.0%	39	63.9%	54	62.8%	151	65.4%	0.67	
同居	26	31.0%	22	36.1%	32	37.2%	80	34.6%		
定住先はない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
今回を除いて、これまでにHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか？										
ある	56	66.7%	43	70.5%	59	68.6%	158	68.4%	0.89	
ない（今回が初めての検査）	28	33.3%	18	29.5%	27	31.4%	73	31.6%		
今回を除いて、過去1年間にHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか？										
ある	37	44.0%	23	37.7%	36	41.9%	96	41.6%	0.74	
ない	47	56.0%	38	62.3%	50	58.1%	135	58.4%		
過去1年の受検場所（複数回答）										
保健所	10	11.9%	7	11.5%	11	12.8%	28	12.1%	0.92	
病院/クリニック	16	19.0%	7	11.5%	10	11.6%	33	14.3%	0.67	
郵送検査	13	15.5%	8	13.1%	14	16.3%	35	15.2%	0.92	
その他	10	11.9%	7	11.5%	10	11.6%	27	11.7%	0.92	
1年間にない	19	22.6%	20	32.8%	23	26.7%	62	26.8%		
これまでにない	28	33.3%	18	29.5%	27	31.4%	73	31.6%		
過去1年間に、各地域でNGOや予防啓発を行う団体が配布している郵送検査キットを受け取って利用したことがありますか？										
受け取っていない	77	91.7%	56	91.8%	75	87.2%	208	90.0%	0.76	
受け取ったけど、利用していない	1	1.2%	0	0.0%	1	1.2%	2	0.9%		
受け取って、利用した	6	7.1%	5	8.2%	10	11.6%	21	9.1%		
過去6カ月に、以下の施設を利用しましたか？（複数回答）										
ゲイバー	22	26.2%	14	23.0%	21	24.4%	57	24.7%	0.90	
ゲイイベント	8	9.5%	4	6.6%	8	9.3%	20	8.7%	0.79	
ゲイショップ	7	8.3%	2	3.3%	4	4.7%	13	5.6%	0.38	
有料のハッテン場	28	33.3%	25	41.0%	21	24.4%	74	32.0%	0.10	
野外のハッテン場	12	14.3%	3	4.9%	8	9.3%	23	10.0%	0.17	
いずれもない	40	47.6%	27	44.3%	46	53.5%	113	48.9%	0.52	
過去6カ月に、恋人や友達、セックスする相手をさがすために、以下のSNSや掲示板を利用しましたか？（複数回答）										
Twitter	25	29.8%	20	32.8%	27	31.4%	72	31.2%	0.93	
Instagram	8	9.5%	1	1.6%	6	7.0%	15	6.5%	0.16	
VERO	2	2.4%	1	1.6%	6	7.0%	9	3.9%	0.17	
9monsters	71	84.5%	53	86.9%	71	82.6%	195	84.4%	0.78	
Men's Net Japan	10	11.9%	11	18.0%	11	12.8%	32	13.9%	0.54	
KO-MENSTV	1	1.2%	0	0.0%	4	4.7%	5	2.2%	0.12	
その他	6	7.1%	6	9.8%	8	9.3%	20	8.7%	0.82	
いずれもない	9	10.7%	6	9.8%	6	7.0%	21	9.1%	0.68	
あなたは男性同性愛者対象の予防啓発の取り組みやコミュニティセンターを知っていますか？										
よく知っている	7	8.3%	6	9.8%	8	9.3%	21	9.1%	0.10	
少し知っている	19	22.6%	28	45.9%	29	33.7%	76	32.9%		
あまり知らない	40	47.6%	19	31.1%	30	34.9%	89	38.5%		
全く知らない	18	21.4%	8	13.1%	19	22.1%	45	19.5%		
過去6カ月に男性とセックスをしたことがありますか？										
ある	75	89.3%	58	95.1%	79	91.9%	212	91.8%	0.46	
ない	9	10.7%	3	4.9%	7	8.1%	19	8.2%		

表8 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 性行動・予防行動

	アンケート		ID使用		ID不使用		合計	Pearson カイ2乗
	回答のみ	n=75	対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布		
過去6か月間に、セックスをした相手は、以下のどれにあてはまりますか？（複数回答）								
彼氏や恋人	10	13.3%	14	24.1%	19	24.1%	43	20.3% 0.18
友達やセクフレ	45	60.0%	35	60.3%	42	53.2%	122	57.5% 0.61
その場限りの相手	52	69.3%	36	62.1%	49	62.0%	137	64.6% 0.57
その他	0	0.0%	0	0.0%	1	1.3%	1	0.5% 0.43
過去6か月間に、インターネットやSNS、アプリを使って出会った人とセックスをしたことがありますか？								
ある	70	93.3%	47	81.0%	67	84.8%	184	86.8% 0.09
ない	5	6.7%	11	19.0%	12	15.2%	28	13.2%
過去6か月間に、ハッテン場でセックスをしたことがありますか？								
ある	31	41.3%	26	44.8%	24	30.4%	81	38.2% 0.18
ない	44	58.7%	32	55.2%	55	69.6%	131	61.8%
過去6か月間に、複数人（3人以上）で同時にセックスをしたことがありますか？								
ある	15	20.0%	13	22.4%	11	13.9%	39	18.4% 0.41
ない	60	80.0%	45	77.6%	68	86.1%	173	81.6%
過去6か月間に、相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか？								
ある	1	1.3%	4	6.9%	5	6.3%	10	4.7% 0.23
ない	74	98.7%	54	93.1%	74	93.7%	202	95.3%
過去6か月間に、相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか？								
ある	3	4.0%	2	3.4%	2	2.5%	7	3.3% 0.88
ない	72	96.0%	56	96.6%	77	97.5%	205	96.7%
過去6か月間に、セックスのときにドラッグ（ラッシュ、ゴメオ、MDMA、大麻、覚せい剤、脱法ドラッグ）を使用したことがありますか？								
ある	2	2.7%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.9% 0.16
ない	73	97.3%	58	100.0%	79	100.0%	210	99.1%
過去6か月間のコンドーム使用状況								
非常用	59	78.7%	50	86.2%	61	77.2%	170	80.2% 0.39
常用	16	21.3%	8	13.8%	18	22.8%	42	19.8%

	アンケート		ID使用		ID不使用		合計	Pearson カイ2乗
	回答のみ	n=84	対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布		
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」について知っていますか？								
とてもよく知っている	21	25.0%	17	27.9%	21	24.4%	59	25.5% 0.86
聞いたことはある	53	63.1%	40	65.6%	57	66.3%	150	64.9%
まったく知らない	10	11.9%	4	6.6%	8	9.3%	22	9.5%
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」を服薬したいと思いますか？								
服薬したくない/どちらかといえば	19	22.6%	14	23.0%	13	15.1%	46	19.9% 0.30
服薬したい/どちらかといえば	65	77.4%	46	75.4%	73	84.9%	184	79.7%
HIV陽性/無効	0	0.0%	1	1.6%	0	0.0%	1	0.4%
過去6か月間に「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」を服薬したことがありますか？								
ない	76	90.5%	51	83.6%	78	90.7%	205	88.7% 0.38
ある	8	9.5%	9	14.8%	8	9.3%	25	10.8%
HIV陽性/無効	0	0.0%	1	1.6%	0	0.0%	1	0.4%
これまでににかかったことがある性感染症はありますか？（複数回答）								
梅毒	19	22.6%	6	9.8%	11	12.8%	36	15.6% 0.07
A型肝炎	1	1.2%	0	0.0%	1	1.2%	2	0.9% 0.70
B型肝炎	3	3.6%	1	1.6%	6	7.0%	10	4.3% 0.27
C型肝炎	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
クラミジア	8	9.5%	10	16.4%	5	5.8%	23	10.0% 0.11
尖圭コンジローマ	6	7.1%	2	3.3%	4	4.7%	12	5.2% 0.56
淋病	7	8.3%	4	6.6%	5	5.8%	16	6.9% 0.80
HIV感染症	0	0.0%	1	1.6%	0	0.0%	1	0.4% 0.25
赤痢アメーバ	0	0.0%	0	0.0%	1	1.2%	1	0.4% 0.43
毛じらみ	19	22.6%	9	14.8%	13	15.1%	41	17.7% 0.34
性器ヘルペス	2	2.4%	0	0.0%	3	3.5%	5	2.2% 0.35
その他	1	1.2%	1	1.6%	0	0.0%	2	0.9% 0.53
いずれもない	42	50.0%	35	57.4%	52	60.5%	129	55.8% 0.37

表9 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 事後アンケートの結果

アンケート 回答のみ	ID使用		ID不使用		合計 n=134	Pearson カイ2乗			
	対面配布 n=52	WEB配布 n=61	対面配布	WEB配布 n=21					
事後アンケート この検査キットをどこで受け取りましたか？ (R5年度)									
コミュニティセンターで	16	30.8%	0	0.0%	0	0.0%	16	11.9%	<b>&lt;0.01</b>
デジタル・ディスプレイで	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
検査キット配布会場で	28	53.8%	1	1.6%	0	0.0%	29	21.6%	
インターネットのWEBページで	2	3.8%	0	0.0%	1	4.8%	3	2.2%	
商業施設・ゲイ向けイベント等で	4	7.7%	54	88.5%	19	90.5%	77	57.5%	
その他	0	0.0%	4	6.6%	0	0.0%	4	3.0%	
無回答	2	3.8%	2	3.3%	1	4.8%	5	3.7%	
事後アンケート 郵送検査キットをこれまでに何回利用したことがありますか？ (R5年度)									
今回がはじめて	41	78.8%	38	62.3%	18	85.7%	97	72.4%	0.12
何度か利用した	9	17.3%	21	34.4%	2	9.5%	32	23.9%	
無回答	2	3.8%	2	3.3%	1	4.8%	5	3.7%	
事後アンケート 指先からの採血は簡単でしたか？									
簡単だった	37	71.2%	47	77.0%	10	47.6%	94	70.1%	0.27
どちらでもない	6	11.5%	7	11.5%	5	23.8%	18	13.4%	
難しかった	6	11.5%	5	8.2%	5	23.8%	16	11.9%	
無回答	3	5.8%	2	3.3%	1	4.8%	6	4.5%	
事後アンケート 今回、ゆうそう検査を使ってみていかがですか？理由も教えてください。(R5年度)									
とても満足している	31	59.6%	47	77.0%	14	66.7%	92	68.7%	0.08
まあ満足している	15	28.8%	12	19.7%	3	14.3%	30	22.4%	
あまり満足していない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
全く満足していない	0	0.0%	1	1.6%	0	0.0%	1	0.7%	
無回答	6	11.5%	1	1.6%	4	19.0%	11	8.2%	
事後アンケート 仮に、今回の検査でHIV抗体検査の結果が「要確認」となった場合、あなたはどうしますか？									
保健所を利用	18	34.6%	31	50.8%	10	47.6%	59	44.0%	<b>0.04</b>
公的な検査機関を利用	15	28.8%	15	24.6%	5	23.8%	35	26.1%	0.08
クリニックを利用	29	55.8%	29	47.5%	7	33.3%	65	48.5%	<b>0.03</b>
何もしない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
その他	0	0.0%	0	0.0%	1	4.8%	1	0.7%	<b>&lt;0.01</b>



# SHIPの活動報告

## (2022年度)

(認定) 特定非営利活動法人SHIP  
星野慎二

### 活動のミッション

- ✓ 性的マイノリティの人たちが自分らしく生きられる社会づくり
- ✓ 心と身体への健康支援
- ✓ HIV感染者の減少

ネットワーク  
づくり

支援の  
手が届きやす  
くするため  
に行政や  
教育機  
関との連携

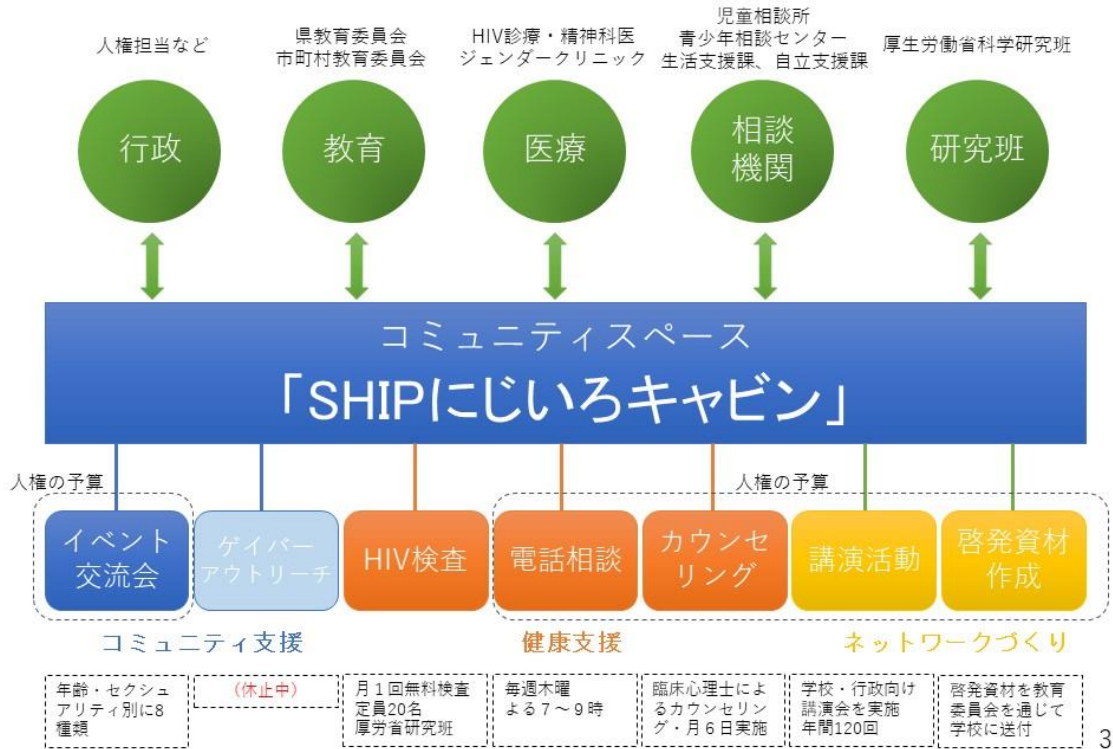
コミュニ  
ティ支援

居場所づくりと情報提供  
ソーシャルワーク機能

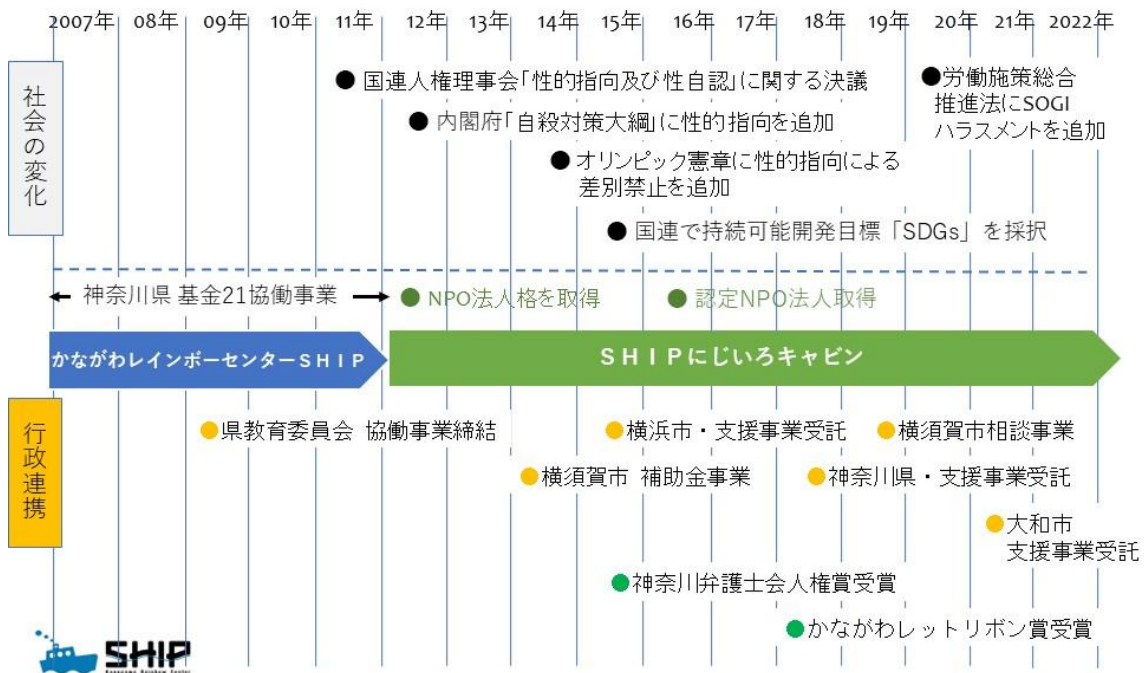
健康支援

電話相談  
カウンセリング  
HIV検査

# 活動内容と各機関との連携



# 15年のあゆみ



セクシュアルマイノリティの  
**交流会・交流スペース**

話をする  
本を読む  
情報を得る

同性・同性を好きな方、性別に違和感がある方が安心して集える場所です。

一人で参加しても大丈夫かな...  
最初は一人で来る人が多いよ!  
勇気出して参加してみようかな。

**かながわにじいろトーク** 神奈川県  
藤沢・厚木・小田原  
10代・20代のセクシュアルマイノリティの交流会。  
[会場] 藤沢駅周辺、厚木駅周辺、小田原駅周辺  
[対象者] 10代~20代。同性または両性を好きな方、性別に違和感がある方。迷っている方。  
[参加費] 1人300円(お茶菓子代)、高校生以下無料。  
[申込] 事前に申し込みが必要です。  
[開催日] 毎月1回(電話またはWEBで確認)

**Friendshipよこほま あざみ野** 横浜市  
セクシュアルマイノリティの人たちが自由に集い、話をしたり、情報を得ることのできる交流スペースです。  
[会場] 男女共同参画センター横浜北(3階会議室3)(田園都市線・市営地下鉄 あざみ野駅 徒歩5分)  
[対象者] セクシュアルマイノリティに理解のある方などなたでも利用できます。  
[参加費] 無料 [申込] 申し込み不要。出入り自由。  
[開催日] 毎月第3日曜 ●13:00~14:00(10代の方対象) ●14:00~16:30(全年代の方対象)

**SHIPにじいろキャビン** SHIP  
書籍やコミュニティ情報が多数揃ってあります。本を読んだり、話ができるフリースペースです。  
[最寄駅] 横浜駅から徒歩10分  
[対象者] セクシュアルマイノリティに理解のある方などなたでも利用できます。  
[参加費] 1回300円、高校生以下無料。  
[申込] 申し込み不要。出入り自由。  
[開催日] 水・金・土16:00~21:00、日14:00~18:00

**SHIPの交流イベント** SHIP  
セクシュアリティや年齢別に複数の交流会を開催。  
●10代限定 10SHIP(毎月1回)  
●40代以上 SHIP40サロン(2ヶ月に1回)  
●女性を好きな女性 テーマトーク(毎月1回)  
●男性を好きな男性 シャベリチャ(毎月1回)  
●性別に違和感がある人 T-LOUNGE(毎月1回)  
●家族など かぞくの会(2ヶ月に1回)  
[会場] かながわ県民センター(横浜駅西口 徒歩5分)  
※詳しくはWEBサイトをご覧ください。

**CafeSHIP ポートよこすか** 横須賀市  
10代・20代のセクシュアルマイノリティの交流会。  
[最寄駅] 京急汐入駅周辺(申し込みした人にお任せします)  
[対象者] 10代~20代。同性または両性を好きな方、性別に違和感がある方。迷っている方。  
[参加費] 1人300円(お茶菓子代)、高校生以下無料。  
[申込] 事前に申し込みが必要です。  
[開催日] 毎月1回(電話またはWEBで確認)

**Friendshipよこほま 戸塚** 横浜市  
セクシュアルマイノリティの人たちが自由に集い、話をしたり、情報を得ることのできる交流スペースです。  
[会場] 男女共同参画センター横浜(3階健康サロン)(JR・市営地下鉄 戸塚駅 徒歩5分)  
[対象者] セクシュアルマイノリティに理解のある方などなたでも利用できます。  
[参加費] 無料 [申込] 申し込み不要。出入り自由。  
[開催日] 毎月第1土曜 ●13:00~14:00(10代の方対象) ●14:00~17:00(全年代の方対象)

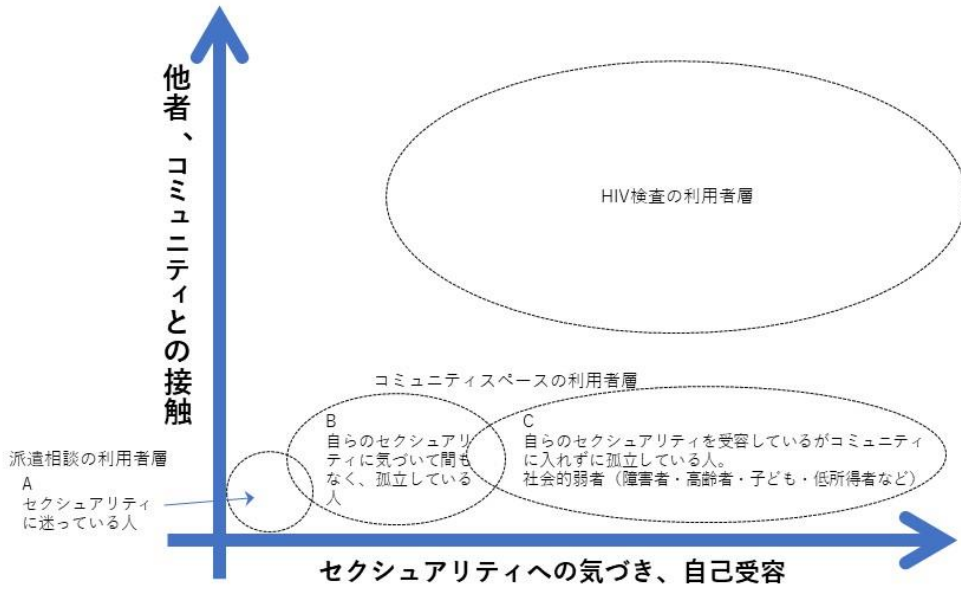
●...コミュニティスペース(自由に集い、本を読んだり情報を得る)  
●...交流スペース(自由に集い、話をしたり情報を得る) ●...交流会(同じ仲間同士で話をする)  
●印の交流会は事前に申し込みが必要です。WEBまたは電話で事前に申し込みをしてください。  
[問い合わせ先]  
**SHIPにじいろキャビン**  
☎045-306-6769  
水・金・土16:00~21:00、日14:00~18:00  
詳しくはWEBサイトで!  
SHIPにじいろキャビン 検索  
http://www.2ship-web.com

## 相談事業

- SHIP独自の事業
  - 電話相談 .....毎週1回
  - 対面カウンセリング.....隔週、金・土
- 横浜市からの委託事業
  - 個別相談 .....毎月2回
- 神奈川県からの委託事業
  - 派遣相談 .....随時
- 横須賀市からの委託事業
  - 派遣相談 .....随時
- 大和市からの委託事業
  - 派遣相談 .....随時

臨床心理士が対応

# 利用者層の特徴



7

# 教員、児童生徒向け啓発資材

教員向けリーフレット

児童・生徒向けリーフレット



神奈川県教育員会  
横浜市教育員会  
中学、高校(各校20部)



神奈川県教育員会  
横浜市教育員会  
中学、高校(各校20部)



川崎市教育委員会版  
小学5・6年、中学、高校  
(全児童・生徒に配布)

8

# 講演実施状況

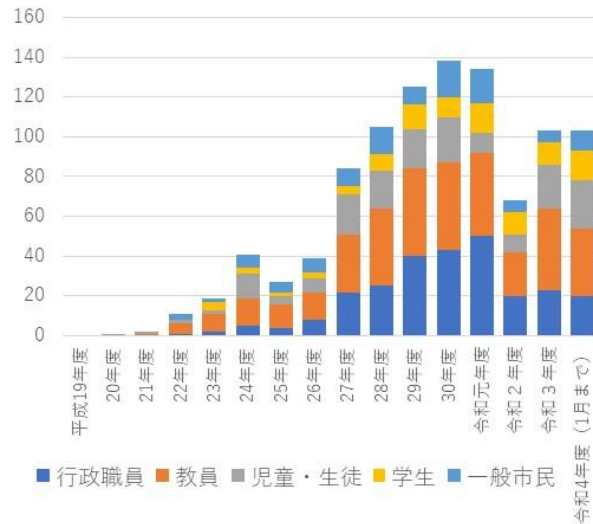
2023年1月末現在

2022年度

	行政	教育	医療 福祉	NPO	一般 市民	計
4月	0	2			0	2
5月	1	4			1	6
6月	1	7			3	11
7月	3	13			0	16
8月	0	10			0	10
9月	1	11			2	14
10月	5	5	1		2	13
11月	2	10	1		1	14
12月		9				9
1月	2	3	1		2	8
2月						0
3月						0
計	15	74	3	0	11	103

【養育の内訳】  
 教員34回、児童・生徒向け24回、大学生15回、PTA1回

講演回数の年次推移



2019年～2023年1月まで、延べ1,000回

9

# コミュニティスペースの活動状況

運営スタッフ数	：	常勤 1人、臨床心理士 5人、ボランティア 30人
開館曜日	：	週4日 (水・金・土・日)
開館時間	：	16時～20時 (日曜16時～20時)
総来場者数	：	237名
交流会参加者	：	315名 (セクシュアリティや年齢別に7種類、57回)
電話相談	：	199件 (毎週木曜、夜)
対面相談	：	100件 (臨床心理によるカウンセリング、月4日)
派遣相談	：	47件 (学校や支援施設などに派遣)
講演活動	：	103回 (学校や行政などで、性の多様性に関する講演)

\*2022年4月～2023年1月まで

10



# コミュニティスペース 利用状況

2022年度

SHIPにじいろキャビン

交流イベント

FriendSHIPよこはま

月	開館日	人数
4月	17	33
5月	17	42
6月	14	26
7月	18	25
8月	16	20
9月	16	22
10月	16	27
11月	12	7
12月	16	15
1月	13	20
2月		
3月		
<b>計</b>	<b>155</b>	<b>237</b>

月	回数	参加人数
4月	6	30
5月	5	28
6月	6	35
7月	7	46
8月	7	29
9月	5	36
10月	6	29
11月	5	16
12月	4	26
1月	6	40
2月		
3月		
<b>計</b>	<b>57</b>	<b>315</b>

月	回数	参加人数
4月	2	4
5月	2	4
6月	2	12
7月	2	12
8月	2	11
9月	2	6
10月	2	5
11月	2	11
12月	2	10
1月	2	6
2月		
3月		
<b>計</b>	<b>57</b>	<b>81</b>

合計 633人

11

# H I V 即日検査の実施状況

「HIV検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究」今村班の研究で実施 <sup>2022年度</sup>

運営スタッフ数	： 医師 6人、看護師 3人、事務1人
開館曜日	： 毎月1回（月曜、夜間）
検査項目	： HIV、梅毒、B型肝炎（ダイナスクリーン）
受験者数	： 150名
検査結果	： HIV 2件、梅毒（TPHA）11件、B型肝炎（HBsAg）0件
	*2022年4月～2023年2月まで

## 郵送検査の配布

実施日	： 9月～10月
検査項目	： HIV、梅毒
配布数	： 235名

## 相模原市保健所臨時検査（MSM限定）

実施日	： 12月4日
検査項目	： HIV、梅毒、B型肝炎
受験者数	： 27名（定員30名）

12